



SLT-500

だいております。ポリエチレン製で耐薬品性に優れているため、塩酸や硫酸の貯蔵も可能です。また内層にポリプロピレンを用いる世界初の製法を確立したことで耐熱性を向上させた製品を上市することができました。

これらのように、顧客満足達成のため、今後も技術革新を行っていきます。

—オリジナル技術を生み出すために、どのような取り組みをされていますか

当社では、社員に新製品の提案を積極的に出してもらっています。お客様からの「こんなものを作れませんか?」という声も重要ですが、従業員からの発案で生まれた商品も多数あります。こうしたこともあり、良いアイデアがあればどんどんやってみようという雰囲気が満ちていると思います。他の樹脂成形と比較して、回転成形では非常に低コストで金型を製作できるため製品開発にトライしやすい環境でもあることも新製品・新技術の開発に繋がっている要素の一つだと考えています。

—これまで苦労されたことがあれば教えてください

全国に工場があるため、阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本、北海道の震災で被災しました。特に阪神淡路大震災で被災した経験から、耐震タンクを開発。後の東日本大震災では、その耐震タンクの倒壊が一基もありませんでした。また当社の製品は飲料水やトイレなど生活用水の運搬用容器として被災地でも使われるため、被災経験の結果として身についた対応の早さは社会の役に立っているのではないかと考えています。実際、東日本大震災の発生直後は営業、管理部門も含めた社員全員で製造をサポートし、いち早く被災地へ製品を届けることに専念しま



被災タンク

スィコー株式会社
取締役製造部長 横山 俊介 氏

—「ひょうごオンリーワン企業」に認定された感想は如何ですか?

「ひょうごオンリーワン企業」という栄えある賞に選定いただき大変光栄に感じています。当社は一般消費者を対象にしている企業ではないため、今回の認定をきっかけに、多くの方にスィコーと回転成形を紹介する機会をいただけたことを、有難く考えております。当社のこれまでの企業活動が認められたことは、従業員の励みになりますし、広く会社を知っていただくことで、今後の人材採用にも良い影響を与えられるのではないかと期待しております。

—御社の代表的な事業をお聞かせください

当社は、1963年、プール浄化装置や噴水の販売会社として設立しました。有名なところでは広島市の平和記念公園の噴水などを手掛けさせていただきました。その後、1967年に海外の技術を取り入れて、回転成形によるポリエチレン容器の製造・販売を開始したのが今日の礎となっています。市場ニーズの変化に伴って、農作物・水産物の洗浄などに用いる角型容器や耐久性に優れたローリータンクなどは姿かたちを変えながら、創業当時から現在まで当社を支えてきました。

その後、大型の成形機を導入し、当時国内最大級の一体成形タンク(20000ℓ)を開発。以降も、容器内に全く液が残らないタンクを開発、より大型化(50000ℓ)を実現するなど、お客様の声を反映し、より高機能・高付加価値の製品を次々と生み出してきました。売り上げのボリュームが大きい大型タンクシリーズは、様々な工場で使用いた

回転成形のパイオニアで

国内シェアNO.1!

日本最大級の一体成形樹脂タンクから

遊具まで幅広く展開している

PROFILE

1983年兵庫県生まれ。大学卒業後、住友商事ケミカル(株)入社、2007年合成樹脂グループ配属、2010年にリスク管理部配属、2011年に同社を退社しスィコー(株)入社、現在に至る。趣味は運動。学生時代よりテニスをしてきたが、最近の休日は、ゴルフでリフレッシュしている。ベストスコア76の腕前。座右の銘は、CoCo(吉番屋)の創業者 宗次徳二氏の講演会で感銘を受け、『生涯現場主義、三現主義』としている。



本社外観

TECHNOLOGY



ロトウォール

—今後、御社が計画している展開や目標はありますか？

今後最も伸ばしていきたいものに遊具があります。既に事業化はしていますが、現在の売上を5年後には3倍にしたいと考えています。現在、東京オリンピック種目にもなっているクライミングを子供でも気軽に楽しめる「ロトウォール」が人気を博すなど追い風が吹いている状況と捉えています。

具体的には、屋外に設置する既存製品に加え、幼稚園や室内アミューズメント施設をターゲットとした製品ラインナップを増やすべく開発に取り組んでいます。そして将来は、当社製品で作られた公園、いうなれば「スイコーランド」を実現させたいと思っています。社会貢献の一環として、スイコーというブランドを高める手段にもなりますので、面白いチャレンジの方向ではないかと考えています。



公園遊具

—最後に、これからオンリーワンを目指す企業に何かメッセージがあれば

当社は「回転成形」を貫いて成長し、「ひょうごオンリーワン企業」に認定いただくことができました。各企業様におかれましても、軸となって貫いておられることが、きっとあるはずです。その軸をぶらさず進んでいくことが何より大切だと思います。そうすれば、きっとオンリーワン企業になれるのではないのでしょうか。

強度や帯電防止性能を向上した、安全で快適なポリエチレン遊具を実現！

公園遊具螺旋



ポリエチレン製遊具は、本来、紫外線劣化を起こしやすいため、長く屋外に設置していると変色や物性低下が生じやすいという面があります。そこで弊社では、ポリエチレンに高耐候安定剤を加えることで、遊具を紫外線から保護することに成功しました。これにより、安全性と耐久性の両方を向上させることができるようになりました。その結果、炎天下での変色を防ぎ、かつ製品寿命を延ばす遊具を実現しました。

滋賀工場内チューブ



現在、帯電防止原料を添加剤メーカーと共同開発して、静電気が発生しにくいポリエチレン滑り台を実現し、上市しております。カラフルなポリエチレン製の一体成形品で、かつ国産品なので品質精度に優れています。さらに、1台から短納期での納品が可能で、リサイクルも容易なため環境にやさしい滑り台となっています。

開発に至った経緯

弊社のポリエチレン遊具は、未来を創る子供たちに、より安全で快適な遊具で遊んでもらいたいという思いから開発しました。遊具の多くは、通常屋外に設置されていることから、厳しい気象条件に耐える必要があります。そうした過酷な状況において、ポリエチレンの物性を高め安全性を追求したことに加えて、ポリエチレンが電気を通しにくいことから帯電しやすい性質（静電気が発生しやすい性質）課題を克服することで、ポリエチレン遊具の可能性を追求したいと考えたからです。

独自性

公園遊具には様々な素材が使用されています。しかし、金属製の遊具は、夏場には高温となるため、理想的な素材ではありません。また、繊維強化プラスチック（FRP）製や鉄製の滑り台は、定期的に再塗装が必要であり、亀裂を予測することも困難です。

弊社のポリエチレン遊具は、新たに開発した原料が、耐候性に強く帯電防止効果が持続することや、雨などでその効果が薄れない従来品にはなかった特徴を有しています。

今後の展開

弊社では、ポリエチレン製品の表面を紫外線劣化診断する技術を有しており、遊具の適切な交換時期を推奨することができます。広域認定制度も取得しているため、リサイクルも可能です。このようなポリエチレン遊具の強みに加えて、海外製遊具に無い付加価値を加えた遊具のラインナップを、今後さらに増やしたいと考えています。そして将来的には、当社製品で造られた公園、言うなれば「スイコーランド」を実現させていと思っています。

回転成形大型容器で初めて耐熱80℃を実現

回転成形の多層成形技術を活かし、ポリプロピレン樹脂とポリエチレン樹脂の異素材同士の一体成形に成功。この特殊多層構造をタンクのみならず部品（継手）にも応用し、耐熱タンクとして上市しました。内層は耐熱性に優れたポリプロピレン製、外層は耐衝撃性に優れたポリエチレン製で構成されており、それぞれの樹脂の強みを生かしたハイブリッド構造が特徴です。2014年に『多層回転成形品として配管用継ぎ手の製造方法と溶接方法』で特許を所得しました。現在、メッキ業界、温泉施設、反応熱が伴う工程で使用され好評を頂いております。



耐熱タンク

製品のご紹介などを目的とする

YouTubeチャンネルを開設

昨年春に、製品の紹介などを目的とするYouTubeチャンネルを開設し、多くの方に閲覧いただいています。今後、さらにコンテンツを充実させて、お客様の一助となるものを目指してまいります。皆様のご意見も参考にさせていただきたいと考えておりますので、お気軽にお問い合わせフォーム、またはメールでご連絡いただければと思います。



YouTube SLT-01

沿革

1963年9月	資本金300万円、大阪市北区茶屋町に大阪水交株式会社を創設	2005年4月	名古屋営業所（現 中部営業所）を新設
1967年1月	回転成形品の製造・販売開始、尼崎工場を新設	2010年9月	広域認定制度を取得 スイコーリサイクルシステムを運用開始
1972年5月	東京営業所（現 関東営業所）を新設	2012年8月	滋賀工場を増設。日本最大級の炉式成形機を導入
1994年6月	熊本県大津町に熊本工場新設・九州営業所を移転	2012年8月	世界初の回転成型品加工用ロボットを開発導入
1998年2月	滋賀県甲賀市に水口工場（現 滋賀工場）新設	2016年11月	滋賀工場を増設。日本最大級の超大型タンク用成形機を開発導入
2000年1月	スイコー株式会社に社名変更。ISO9001認証取得	2017年10月	建設業許可（管工事業）取得

会社概要

所在地	〒660-0857 兵庫県尼崎市西向島町86番地	従業員数	140名
電話	06-6412-5851	資本金	4800万円
FAX	06-6413-1803	設立	1963年9月
URL	http://www.e-suiiko.co.jp/	代表取締役社長	横山 隆入

事業概要

回転成形法による樹脂製品の製造販売